島ルセツル鷲海

海鷲の精鋭、敵機墜碎へ出撃(鼠魔婦鼠魔婦は質して勝場)

赤軍

大部隊を剿滅

るべく衆議部路域の設定を見る

煙道

の毒

を消す

スト菌

0

バン地區獨軍の大戰果

場を 猛爆したほか アソフ瓶沿場で、敷岡のソ場縁送列車を捕撃、登車八十橋以上を爆碎してあるる

明以休息

つてあるために容易 にニコテン中毒に罹 てあるが喫煙家は既 でも知つ が入狂毒が含まれて

をとす作用があるが同時が解消される。故に に、イースト第の含 イーストは愛嬢家の 「ラクトララピンと 十四銭五圓三 ・ 本づく」のため煙港 十五銭で薬店

定期敘動

に壓倒的戰果

|左に進撃、敵機群と激烈な空戦を交へ其の四十九機を撃墜せり大本管襲表(た4月1日七年)帝國海軍航空和隊は六月七日軍隊後の 必死、斬り込み戦法

て廿機路底の磁々たる限果を選げ | 「東京範囲」 去る 五日 ショート | 屋を頭板 | 南州市 た近天 株々大窓| 日南太平洋空の第一線を陽子とし 我等その闘魂に應 この日わが堂人の大橋際は微量 四十九艘を血祭以に上げた、しか もこの間にあって飲俗解々のわか

窓でわが方を待受けてゐたが、こ ことである。この空中収は時間と へたのである、本空中取でわが方 方は飛行場、格納庫など数軍事施 すが、く腐よ強烈の度を深めて 本字中版において特記すべきは

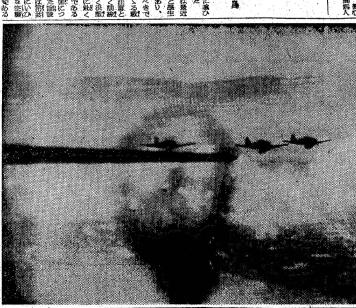
的攻略に出て敵の本量ルツセル

政然激出阵の程

には一部リセルく忽ちにして散機一知するやルツセル島への往後の 一六など欧が新鋭を誇る歌闘機と 方も必死であり敵もまた必死であ

を認めてゐることを示すのである 明白なり

古がりを試みようとしてうと き米海軍省は七機を喪失しる の場所を固めればならぬので その反攻企画は一概に倒るべきで これで観はれるやうに敵は最近 の破裂に対して深低なる注意と



一般につき八日記者既に対し次の

における前後四回の大概滅威に 【ベルリン八日同盟】郷郷営局は 赤軍狙擊兵廿五個

パン属園屋の賦果般表に引 ベルリン八日同盟」属軍監局は 四回にわたる厳峻域の經算

特 24

磨齒用薬

しまりなに頃の葉青

における暗國後級初の報告演説に

統領の政策を踏成するのではない

チン新内閣の閣僚は版相ホルへ

リンタマリヤ博士を只一人の例が

てなれ胃肠病を癒

人 数共・甘八輔

【アエノスアイレス八日间盟】

・ 関の糖化力で食物 を服用するとイーストッ を服用するとイーストッ

右翼的な傾向

に禁煙の断行ができ

二萬七千喪失

第一英首相チャーチルは八日下院 【リスポン八日同盟】ロンドン 英軍の損害

るて要上申上げた外、東條級理 | 簡素に一貫希望を申述べれば内地 る傾きあるは残だ遺像とするとこ 機由に明鮮に於て報道師に排ける 鮮の近情隠離が概して選挙な と述べてゐる

を切回して已まぬ次第である ため、暗君朝鮮質論界に於ける人 人の今後の努力に對し一般の強起 突政命では突然音との連絡一際化 の戦することに決定、過段戦 に翼政入會勘奨を問題

食慾

増

進

朝鮮廖北・ミツワ浦頂農場商品都東京 ◎ ミツワ石酸本 舗 瀧 品 籍

れます・ を除去してく を除去してく

下隣にて岡田将派員發】天機率一八統総字の國是に邁進する日本の一等政施に置り精神的預要訓練方法 磯總督、下關で記者團に語る としてまづ中央における指導階層

消化促進

関係の無成など全般にわたつて監 次の入會省で残餘申込む

ノバナン製物

二〇〇錠入

房藥井新目丁二連門大闸府城京元**齊**版鮮朝 历究研學化藥實額 **國川**區市京東 原列學和中央

松井市長等となごやかな會談の後 長端から林森岡店を訪問中部社長 なほ小機能がは飛足を駆更 總督府辭令(八日)

破兵制度ならびに海軍志願兵指一歳日本の広力を脱裂して歸紙した に指導して行く整悟である | 母被背景で外華により音楽員に外 任建軍司政官 (三四) 冬 陸軍司政官

天観に咫尺し管内階般の事情につ 民任以來一年ぶりに機能を得て 下開解長室に少額中間野 心眼には國際本義の透散と滔

酸酸をもつて活出したのであるが き数上、種々有能き御下間を建し 今回報題発品題を検討、帯聴学品 として多大の成果を收めて死たが 職に参加せしめるため民間各次の

元気に沿したことは終 學職細数者中より間故、変殖する 許で機理人選中でありたが、九日

つて區長は勿脳一般更員もその

る部面が認る多いのである。從

【東京電話】情報局では威時情報 | びに望附情報官をもつてこれを様 審議室諮議を設置 情報局强化へ九氏簡拔

職の御費格をもつて御成りあらせ

部隊はもとより陸軍少年飛行兵後

き組みである

用機操御蟹の段下と

等を上腹、全會一致可決した

を急減を痛烈する爆撃を行った

氾水を猛爆

が陸軍航空部隊は六日黄河南岸の氾水「上海九日韓同盟」八日洛陽よりの 死間によれば、わ

際を試ぐ同飛行場施設、粉定路などを完置なきまでに爆発して全機無事間避した

行場に、役到し、原然なる地上耐火を聞して巨蠟の雨を浴びせ歌が本土空襲の基地として教物に設

藍の敵飛

初夏の朝ぼらける

大道の東国は総督

地に抱込んで黄ひ伽力結集の質を 内地同胞が朝鮮の姫命と地位をよ 除地のあるのはやむを得ないが、真の島國臣民たるの精神的陶冶に

く認識して一日も早く無差別的境

解念のない地面版士達の真摯な姿

一ちつと見入る熱格は多位な常

えつけの準備に、酸刈りに賦々と

是完盛の政の盟友をらしめるやうあげ、われしくも半島人をして國

九日拂曉戦爆連合の大編隊をも

【〇〇基地九日問題】

殿下が尊き御身をもつて極望航空成に患召を垂れさせられるのは世

軍少年飛行兵風被へ御官

殿き盟軍少年飛行兵教育に特は概として聞きその重要性は萬人

の祭しく認めるところであり、

て一家の概力を結集すべきの秋

國際亡の関頭に立つて、今

際盟が八日の大副奉献日に決取

決
就化として
戦場持場の
激
形
起 関連として思ふる時は、動勢の

れを徒らに難列的に限示して半

創意ご工夫に就て

とする頻道が一般に選化しつ

に於いては大政変獲象が來月 一数然のこととはいく何に選ば あることは、外親段階に関す

ことなくしては、整成完盛の八 は取力増弱の本盤的要付をなす る。他ふに決敗生活の確立こそ

運動に外ならぬのであるから、

この生活模式の革新は決して一

て観一主義の映版は、動もすれ て一日を野ふ威力増殖への織ひ るないとは、一人なであらう。さ

人國家計事も所監事所に終る惧

ことと思ふのである。何ち内

よとか食生活の決取化等の物的 開省の助員等があり又他面天 動の隠化、漕掃整頓の徹底、

うか。然るにこの取録は長い

一不消化下痢を起すやうなこと の出意に一切の質問事項を極近

に一億額力の結集を聞るべきも

す影響は今後刮目して待つべき も河に歴費に堪へぬところであ

衛生、各種社會專業、歷校兒童

京城府の區制

る。今回の區制質施は現在の京

感しては、絶對に俗意を感じな は興行されたのでは、一日や二 らうレダー製団民としても、こ かい古くが困惑なき能はぬであ

> なことは云って唇れぬ。けれど 取してゐるから謎々などと構氣 らぬ筋合となる。勿臓耳臓はほ生活の切壊を断行しなければな 職場に於て夫々の事情に限じた

らず、先づ率あらるく者の身に

して指揮者は叉根本の精神を認

係の基勢は勿論、決威下國家総 も最近は百廿萬人に上り、

一個兵制度近施を控へて此種関

の密接なる事跡を問理するので

ある。具態的に云へば今後區役 職権に属し直接府民に利害関係 のは肝労の下にあって、肝労の

野負革命、國民超力運動等の要

事、各部證明及び飯祭事物を初所の扱ふ再務は戸籍、留留、兵

総力運動、貯蓄・吸い、防空

れば職場、特場によって重監的 べりを発れないことである。古

|極層の中心であり、 その人口

うろこの戦争を契機として、

うするとそこに超る原領は知っ

東京電話】提くも久遠宮駅陸王られ親しく間を敷育の實況を御監

陸軍少年飛行兵學校の光榮

を持つて來ぬが、それでは酷君が

樞密院本會議

原の慌しい時間を削いて展図車

九日期特急・富士・で下願者、瞬

あるか、数千年來の歴史と傳統で

強力な一変たらしめるにあるので

朗かに次の如く融つたと至って

置き熟田神宮に参拝して五月十九 日東京へ暗き直ちに参内、天機を

急遽はされあるものと乗され数項

を挟翼し軽る道であると管はねば

は私の心より得びとする、只この

眞の盟友へ指導の覺悟

自的完後に選進せればならぬ、斯 見を無線数し自他共に得益すると くすることも四大神心に関ひ量返」ころ 大なるものを自張し 得だる

て物心層面に亘る頃命に立ち國家一質情を紹介すると共に各方面の意

にあらず、朝鮮二千五百萬の無 に呉上當事指たる小磯一人の光泉 し固き決意の

十島

の道

は勿論、朝鮮の有する經濟産業上

次及び宮臓界に活動しつへある多 大臣以下各閣僚その他政治、經

確立のために邁進せねばならぬと

意大東距隔争完後と最過共衆國

の本盤を深く竪戦しつム総力結集

年の日時を翻過してゐるので天殿。昨され同十一時宮中に勢内し、親・小磯今回の上京は就任後約一ケー思を了してのち廿四日無關を禁し

率同と朝鮮管内の状況突上のため

であつたことはい変更申すまでも一約一時間に宜り朝鮮の質情に隔し

畏し久邇宮朝融王殿下台臨

には海軍〇〇聯合航空隊司令 遊ばされた

大東亜歌手下皇軍の諸々たる職

こ初帯記数域の思想を取行、新た「東に関する企業飛頭に管って來た 能の部新提化を期しるる四 成され情報、宣順の基本的重要等

◇家谷佐平氏(柳木社常務理事

助氏(特國聯發紅長)

・ はの 灰 化 以 … … … 四 旬 元 旬 最良文學 門外 觀 … … … 田 中 初 共 朝 間 秀 龍 に … … 田 中 初 夫 朝 前 間 秀 龍 に … … 田 中 初 夫 本新 人 作 品 推 鷹制規定 發 表 戦争 と文學(国際音) 上田 医の井上 東文の泉 質 午の辛島 類の参 本 長 大の宮崎港太郎の

〇一二重門化光府城京 社 文 人 晋三三大八二城京替振

自横作夫表

超過

著瑞載崔轉 換 期 0

朝

文

學

で、この原助用にあって、かく野和を担当なので、というないで、この原助用にあって、かく野和を関すったととは、まさに著者の服务のはいく、この原助用にあって、かく野和を持さ来ったととは、まさに著者の服务の はいく、この原助用にあって、物権期割を含えて、政策の原金は難といる外部取得もあって、物権期割

研究所主催で特殊が火管制器習會

を慎者、神戸の二ケ所で聞くこと

旱害對策は萬

忠南北の苗代は良好

指揮し、直ちに出動電師中なりしが、よく時間を監修し、頭丸側りさき帰郷所長代理寺島長長は頭の道信脳路で腹とこもに所員をりをき帰郷所長代理寺島長長は頭の道信脳路で腹とこもに所員を 中の問数然としてよく所員を指揮掌握し、部下は威嚇に命令を選 寡兵、五百を撃退す

を職衆せり、その心臓において堀川缶耳は蜘烈なる職死を案件寺を職衆せり、その心臓において堀川缶耳は蜘烈なる職態し保護所入し数名を刺放するとともに孫兵よく数十倍の職を職遇し保護所 といふべく、保線兵の鎖艦とするものなり

信部隊精神を遺憾なく發揮 制し積極果故なる垂剣の下、所員一同强固なる緊急を保持し批烈 級路保守の任を全うし併せて陽明星の治安を回復せしめたり 握をもつて速かに静態に出動し解脱より救援の保機兵と協力して 島兵長もまた爪陽をいるも残除の人員は敵撃退後松原上等兵の指 石の行動は平紫隊長以下の跳論をよく實践し兵長の機眼よく歌を

機能と手組織をもって総拗な抵抗して層面匠長に幹難以前により六日所をを襲した、しかし優勝を侍む徹は「毎長は寒動拔前により六日所を **殖産局関本による四月中の財内郎** 客月中鮮內 卸賣物價

精の九・九%で、低落せる 次の如く酷った

る、甘露も忠南は非常な力の入れ

報告を聽取 總監、四氏の

として遊跡してあたが成績も良好

家用に供するこを認めた結果、作 破芽は非常に良好である、 出來てゐるやうだ、棉は各地とも 場、顕山の動報隊等で萬全の策が

付酬省は樂に行ったとのことであ

去る一日來出張中であった

總督府で現物を確保

民間保有の石油

開入、統制會社では鮮内三十店 の特約店を通じて、これが開給 を行ってゐるが、七月一日以降 大切鮮石油の現物は一旦總督が 大切鮮石油の現物は一旦總督が 鍼びがある。而し二段清、座苗代 徹底により思顧苗なども見當らな 2は開道とも大艦良好で消器の

第分級)以下十九名の勇士は

こに全く総崩れとなって選走、

大白む四時わが反路は成功細

つた、展兵よく五百の大敵を階退

るが、これに心臓して朝鮮におい ためで政府は石油の段置制を七月

いて確保し、配給に既全を期する 関に委ねてある現物を総位府にお ても七月一日を期し現在の民間後 一日から質施することになってあ 既時下石油の最効率的活用を図る

た功績は質に偉大なものがあった

移つた、古しも頑張だった歌もこ

を決して一部に最後の跡職攻撃に

版友の死に消滅した勇士をもは死

時酸中にあつて循紋中の堀川文夫 を繰返したがわが肉薄攻略に断倒

三酸構へでこの駐本年は心理い、 れては共同作業班の組織や婦人の

十八年度綜合計畫造船內示

の主力なる機械師の給職をも確認、水面調と協商中で近くその領が決 る、舞信局では右続合計量の個の主力なる機械の分計費通道を行うをのに對 (整に建定するとともに派職をも計 となってもり、修繕をも非常にとなり、目下 すべく耳上水園家を立条中でもし、 に続きるとともに派職をも計 となってもり、修繕をも非常にと理論する。と 渡船買決定の動向を見極め國軍神 音材労務その他需給に順じ適宜 助豫算操作に萬全を期するため 彩世席上において内示

都市)は左大腿部に資通銃値をう

欧戦自兵戦を展開した、電話室

帆船のあ計磁型造を行ったのに対

し、計選を綜合化するとともにそ

このほど一部の建造開催の内示を

定するが、船型は原定せず船業書 このほか辞百トン級〇〇等、

に感機を期付かるよりを販兵二名 | 今年度は船型の帆撃を整備大型化。

は既に迎べを述く怠慢の動物的國人恐慌に指き込まれ過剰米に苦した物質性質調質理特別會計超越の意識、質問作加酸と呼ばれた國際經濟の

習慣作飢餓と呼ばれた國際超階の

形態は極めて强力

歴史的な政策の轉換

食糧管理特別會計法案

かる、きつ昭和三年米敷法第二世の大学の開催にも施行し内外地一貫

したものだが、結局昭和九年の面

た、また一方難談の関格を公定しの指定をなし基準目四十一個とし 格等統制令による最初の法的價格

ある、また断米統制と並行して大 で関格艦制は一腮整備されたので

れいで朝鮮と村の密部力が顕力生

然管理の實施であり、その財政的

ル酸が特別強計となるに他ならぬ

旱害を轉機とした時代、灰いで十四年の

し、竪六年七月、米殿輸出入

郷立をみたのである 既が置かれ食糧器給続制の石政的代に入った、同時に總督所に米談 行され統制組合による自治管理時 立至つた、夹いで内外地共通法を

よつて問題は解消したが、統制を那項酸以來經濟事情の好物に

取引所相場の抑制に出發した、當

糖で二百五十萬石を統制下の置い

目標で進んだのである、これが統

朝鮮は収穫減、際数から

不足高教潛輸移入雜版、身替輸放 さく賦内の儒給計述が樹立され、

人類取の管理をなすほか、鮮内会

一競に暫定的抑制をみてゐる。か

である。内地米西卅八回に頻晩し

總動員法に基

き十二

會批米源市場會批を竣立し取引的

食棚管理は流通部門に戻いて統制「階を經過し今日に至ったことである機管理は流通部門に戻いて統制「階を經過し今日に至ったことである」

來た姿でのものでもあった でもなった

た弦然の描述ではあるが、脚梁 り最高方式である雰蛮と同一水準

鮮にとつて正に歴史的意味を持

た概弦所の政策戦災であると云

統制法を施行、その輸出入統制係

これが「價格統制として、打たれた一瞥へ、十五年七月には朝鮮発気を

格も米級配給網整令に根據法を切

制令を公布施行し、現石統制方式

安盛、十二月に明賦米版団治部

を法的に整備し終った、同時に個

米穀法を廢止し新に数

一個んで來た最近の足跡を振り退

10 の路壁を勝り、寒工期限内院成に 質 真全を期せんがためとられた方法 である

榴躍と側面からの酸銃剱で同兵

に壯烈な最期を遂げた周川文夫上 部下に對し八日質調を授與してそ

機帆

船

の船型變更

せず忽ち先頭にあった二名を銃

二(十月ー十九年三月末日)の今年度を第一(六月ー九月)第

も見える、次に一層の均産を確一告を職取、概談を遂げた

のため東上中の櫟木朝郊社長は九 活躍せしめる脚期的事業である 機器のを發展的に解消し、これと

京商議員總會京城商工

●として基本金に本年度より向う 一般部所では、十二日午後一時同所 立、立案中の組員接端會に対

損失を度外視 船舶輸送に萬全を圖る る語長社木鉾

同接破會は本年一月四日階競で決 て設立され、一般時下海の輸送に活

總合計員 **八百七拾五圓貳拾壹錢**

防献 金

田植の手牌ひをし、内地から盛館 送つてゐる、今年も

部落に日常の生活に移し入れるこ 人が半島に來て一番先きに強く とは、より大切なことである、内地 歌がさることをは、 の少さを放き給ひぬ 京 城 西京 城 西 水槽に水を張りつつかかる世にた東京・野村、知世 日歌壇 吉井勇選

物飼料として吹くべからざるもの である、しかるにその大部分を燃

本社寄託献

生命の美しさは、艦隊数の領域に gる。形の感情、人間、動

膨減であり、大根や局部署の

錬成寫眞展に備へ東亞半島青年の徹気制質施 **発記に「無成する年島門** 人化期鮮網難部では次回

たちに気にかかる 西部 原衣 ◇七月一日白茶製切強定の印録文四時、密磁性録 題人植、夏柳、豳目十旬、 一時半速信弱樂の値で明佛、辞出總俳句の十二日(土)午後

母の手思ふ注射うつ看 一階社変経で催す、一

郷である。

推古佛は人間の信仰 精進によって創られた世界に於

であった。影談に関心を持たなく

文化だより

くときゆ如るく一 野歌日くのに! 剣 心喜の劍岨劍 作を苦聖道心たを | 描惱若を一ぶ突

安産のために ワタカルシュム錠 7.288年 頭「安産のために」 野子海島 太好记人 區 大山東 即田卯助商店 | THH 治 座·若草劇場 | 京城劇場 | 京城劇場 | を開くている。 を加える。 を加えて、 を加入て、 を加入し、 を加入し、 を加入し、 を加入し、 を加入し、 を加入し、 を加入し、 を加入し、 を加入し、 を加入し、

當別立社未得19計**省** 中期途定日號自 而心、昭和治八年四月為北京與株式治北等以 五日中川ラ京城市公月町といく日本の一人日本町・一、田本町・一、田和台で、田和台で、田和台で、田田田田・一、田田田・一、田田田・一、田田田・一、田田田・一、田田田・一、田田田・一、田田田・一、田田田・一 敬介ヲ昭和拾八年明後金山研設株式 ħ

本らかで高紫工場、スペーク など特殊燈火管側に顕する関本と特殊燈火管側に顕する関 に役員會。同二時職員那會をそれ 問臨時総會に對する代表出席者能 れ開催、本月十五日開かれる朝 株式市況

ことゝなり、このほど朝鮮、

銃後の行政遂行に完璧を期上

三級の後備知識を植付けて決取

維會館會職室に本年度定時總會 工業會では、九日午後二時から 絲組物工業會 朝鮮絲

期間様穴分である。 立とになった 指示にもとづき理事會で決定する

『これから変の適期刈だ』官民間 間後の適期刈取週間と定めて部落 盟の自強的活動を促すと共に 麥刈り始まる

遷(忍)渡邊(墨)疏永碧の四氏 總督府では農業再織成のための歴

にこれが報告職取のため九日正年 中の所。田中政務總監は東上を に過酸來各道圖樂質戲馴査を依賴 樂計選委員留委員のうち松本、渡

での指導管側に神殿面号を初め報 各層の全的協力と相俟つて水も漏

味で今辺酸つて來た人たちに

こゝ敷年來農繁期 無数の歳から成ると共に度とぬに一無数の歳から成ると共に度とぬに よつて其美しさを更へる。主とし 三の感想を強くたい。 人間をモデルにして人間の指と

委嘱、番き下しの供木迎動用脚本 ね際』では露壁質が長谷川伸氏に る日本移動浜脚聯盟取配『くろが くろがね隊
朝総部隊及

『六本の規』を同時に初上版する

富岩参琴圖印以玻璃和分类石块/7m~, 小七亩五旬直前 五 配型相对年夕年

が用町六六番地ノ試合計最更 取稲役

美味質質

金箸パスル

の常はや大意説の開かりの常はや大意説の開からによい質で、小臓(の)にとって、小臓(の)になって、小臓(の)になって、小臓(の)になって、小臓(の)になって、かば(の)になって、かば(の)になって、

要 答 東 京 七二六 香 東 京 市京橋田西八丁堀二丁日十 東京市京橋田西八丁堀二丁日十 東京市京橋田西八丁堀二丁日十 「心臓の手當と食養在」

級問 決意教たに 決意教たに 鮮展の彫刻 り、盛んに暗形を創り出す、 檢應 伯 Œ

會社組合便り

洋盤の先生に報査されたものだ。 めてしまった。その上頭(飲で彫刻) でれで氣まづい事が多くてつい止 那婦人の足がそれである。 には人態恣い。こしてしまる、

食を進ませる 熱ね汗を去り 動悸、息切り

るりれ

少い、持ち込む嘘が無い、 一かれる、労働である。 其上用念 その既になると、何と都曾に をの既になると、何と都曾に が大着派の多いことか。 うなものは、ほとんどな とい。遊休労力といふといるが 若指も、女も子供も 文化

面の間に関心を持ち人間の間を立 れたともよくある。私はいつも 思宗れてゐるところに関係があ はゆる文化の乏しいところ

文化といふものは、 そんなも しみぐと考へさせられた。

北支

最新式諸設備完備に最高級を誇る

室 六階

百餘室

有

絃楽殿が 本社の後級下に 十一日 人を糾合して組織した京城交響管 目的に半島管絃樂界の代表的樂壇 金)午後七時府民館で第三回目の 樂團の公演 の普及を京城交響管絃 郷正常題

公演を催す、指加は殊安正男氏、

『第四十一番、ハンガ

女、第二組曲序曲『マルタ』

開始なり、一旦大大

記

(1) 中央 (

维化膜、阳和胎八年的 式的比较级

が開発が聞くはいる。 公園が現出。昭和拾

元洙、昭和培八年四月 陈式命此参见, 監査投 各新株排込額ヲ五倍式質社選更 昭和拾

年、昭和拾八年四月灣拾日朝王精訓性式自計學更 監査

·文店 亨同區場方町六六六番馬尔市大蘇區地上町提方六六六番 日本無理 ※製造株式會批更正

察香・犀角・熊脇・牛黄・魔珠其他配伍の「敷心」が且を縁はれる、紅獣や張精動物のホルモシ精臓、古ぶの皇漢馨道、並に現代ホルモン薬理上、優れた から丈夫にする -夕朝

職"的"

郷の度を加へ來つくある、

[村岡特派員 (朝鮮軍報道班員)記]

歌じて歌たずは止まぬ 決戦の様相は日ととも に深

ざれない、まして半回は明年を期して精弱なる島軍の野士を 必被職捷獲得のため今こそ一人といへども落田者を出すことは許 へ送り出すのである、 酷ひ起っ 層若き精臭に我等もまた 蹴じて

關係者五十五名を選って朝鮮、取は去る五月廿九日から一週間に

で動かぬ途に当天子が姿を見せぬ まゝに魅ってゐる、遠い皆もない

に乗りた場が違ん。

でのた場が違ん。

でののた場が違ん。

でののた場が違ん。

である。

である。 <

俎だ、軍服、誓うて大陸の歳野 る、総てを自紙にして弾車な磁圏の行車である、延原を頂く戦闘 はと感波は大きく膨みあがつてる腎脂の腋宮に向っての暴道番員 網と感波は大きく膨みあがってる

ゆく、それだけに強員の暗観と希

質の感験から破壊され、

ところどころを素(銃が耐を及物でミネ弾ちするやう れらの球員をちには一ラーつが語

勞苦追ふ夜野の行軍

々軍靴進む

越え山原を辿り青草のムツと関せ

を返送きしてをり、告天子の戦り

占めてゐる(梁まつてゐる、夕陽が金色の輪

十二時すぎだった、極れ切った身 この夜は 前級の 足跡さんは――やうにして腹一杯食つたのはもう 法僧の鬼勢が遠くて流れた、誰も

なかつた、それは人の努苦を批評

社特派與〈阴鮮軍報

法僧の鳴聲が速くて流れた、誰も

カレ掃ーを字文性政 ノ生誕の筆鉛本日純

である、午後三時から超した行歌 報道練成演習を新鮮な空氣で包ん

いランプの光り三つの弦具を解き

بة 2

には電気の明りは

に配は形で白く汐を吹いて囲に無

執数時間について波田聯盟

豊食で

決戦績く

かて孫原生部の一年後八時から

学の能率のみならずその張り切り 分でも廿分でも早く出ることに

理命を左右する血の決版がい ある、一砂の瞬間に大東頭の

y 日念記の時

て放送、全鯨の各時計屋では

この副連的行政機構の展化によっ「東九、西大門五十一、龍山卅五、東カ 一十五、鎌路七十四、東大門十四、城

のである

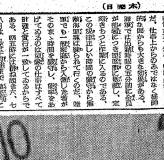
積極的に新なる活動を開始するも 民化に概ふ府民の中心母職として 意義傾底に努め貯蓄増弱に半部屋

ませうと関し 長が時を守り

瞬間

悟、これも一秒を録って時間 出動 ――を取入れて時間に 繁國政策機能民事項に貯蓄と 出勤しよう

際火の構へをとつてゐる、大 恒例によって時計の無料修備 時間を領重してゐるのだ、食事の ハ月は、九時半消懸まで、徹底的に





を自願し男は背脱服の新開絶對際 用である、とくに衣服調度の新聞

の徹底的職行」の質踐に入らう、

恰もけるは『時の記念日』だ、こ り太平洋の怒鶥を蹴って米英陸波

酸じて一時間

水服は勇敢に

切替

泉時

間

はず、半層二千五百萬がける只今から實行して行かう

億へ仇敵米英を徹

本元帥の肚然なる機上販死**、**

本元帥の比烈なる機上戦死、アツツ高將長の王麻などにより思勇を依めい國民総力総盟も失戦生活烈動を展開せんとしてある、山

生活は手近な協から職費に徹底的に實践への第一歩を踏み出さう まつ今月の一頭班が暖亦頂である時間の徹底的駅行、園民服常用 民政化し、何が何でも勝ち抜く決成生活に顕進しよう。その決議

(上)

や短袂の窓用、

行く院に厳力の境路が生れる。統 といふのである。たゆみなく時間

じ他版にならぬものであれば國民

れば四巾一ばいで縫へる、仕上は

彩へてある人があるかもしれない

太平洋は増强

341**到で血渗脂はna断油**

高橋大將迎

ンントン來電ー米國海軍長官ノツ

記念大講演會

施は、《我等海に急 海垣特別志願兵制の常 禮服に

二丈七尺となり五、六尺の大節行

主幹蓮沼門三氏の來版を機会に

の疑談による鍵成者も行ふことと 直接の 指導のもとに 新行會議員

化冠紫洋祭の開茶

「年こそ突截の年だ、といばれてから半級、決戦の構へは熱々四

るか、といふことになる、之は鄴 な答となるのであるが國防色で も協力し背欧地であっても國民

つた、年間以村の都屋根は毎年一

非能率的で持久力のない朝鮮のの一各道へ通牒を發した、この設材生

慣習から一駆にはその質別を期し

活改記は、物の關係と古くからの

本年から漸次に麥稈葺化

壽命の短い農家の藁屋根

石し融服にならぬ、といってもそ | 管所以休局では半島の全職家を歌 い國民服に儀禮草をつけても微一年の壽命に比べ全然比較にならな

毘屋根様式もいまの紫屋板のやう

日常生活に深い 増や膨発子が干せるやうに、

馬糧の献納

分會起つ 永登浦日

等の胸を打つノー酸は東、ドウー酸は東、ドウー酸に大き、ドウー酸性は我の名が、ドウー酸性は我の名が、ドウー酸を対して、

けふ七區役所晴れの店開き 9 亞東大け築で資投
てしき海源議和選換の者心初
キガベ(羅時券種園機の評話
皇族・別によりのみ込中調では
・仕奉料集・資源監察の参議・
服西国市町大・学・芳・貴 賃 有

> られた大きな任務であるが、ア に努めることは銃後の主席に即

もつとお図のために添さうと

關

に海軍の元老高橋三吉大將の來戲 が進んで私達の手で出來ること 必行するばかりが能でないと

控へる徴兵制質施を初め織力運動時行政事務の骷髏、殊に明年度に

接つ日籍、帝留、兵事各種聡明、御殿副府民の日常生活に直接關係を

税事務を初め離力運動、貯蓄奨励

永登前の七區で、各區に區役所をで新に質施された區間は中區、館

つた區制を酪々十日を期して實施

半島における中心都市として最近

制質施記念大器波會』を明備する 凛烈府廰員の錬成

引継ぎ廿一日より廿六日迄府内 級約二百名を二回に分けて行ふ ので、参加者は駆内各職保夏主氏

町修養関道場で硬行錬成畜を担与

瞬頭の修養戦級を目指す京城で







配給も人學も寄留から驅

断任の豫定である出席のため十日夕入城し十三日朝 大野陽南穴事志開鎖都市委員會に 素晴し い入學率 更に目下潮州旅行中の修養製造場

びに卒業生の就職狀況につきかね が競表された、それによれば本年 の統計が集まりこのほどその報告 し関査を進めてゐたがいよう 【東京電話】朝鮮戦撃會では本年 高、專は昨年比三百名の増加 任敬師、被長などの意見をよく **2年島青年受験者に目立つのは**

別は位の当年に直接的に要議の増の観路には一層力を託えべきであ 校への多数志願が

職者は八千六十一名でそのうち合

格者は一千四百廿名(うち五十九

窓の順れが獣に蹴ってゐる

概を指げく――と墨族語しい決代々に趨がん。 / 鬼笛米英の心 の職場々々には~山本元 の玉と燃やして挺身の にその全身を顕現、火

増盛に、勤労奉公にそ が山本湖につい

化すると頭を合なしたする マンーは最ツマリ、鼻カリや、いつも マクーへ出る方々、現カリや、いつも 後で簡単なでするる名がです。一日一 を可能をするるのではない。一日一 は、まないないない。一日一 でよりないない。一日一



大野村久野村久子

好い時期です が 一 番 ッ治すには

社 社

株式會

大。獵大報國 安區中域日本洋大聯盟 中大型線進星 要 切手 + 競 東京 東 切手 + 競

留社 合併公告

アイス 一制酸・完全消化 マ全消化 明治東業法

城 職品 業紹介 所

京並定法所切所類

的像定限 中基第 518世月七布配 校三赤吋二十 組枚四赤吋十

¥ 30.08 附掛部解・譜徳

社會式株響音本日

他 出面面申申提 動接日込込出

豫方時締場書

身間電健ニシテ労働ニ堪エ得ル

式會社門商金化一東京市韓田區銀治町三ノ一東京市韓田區銀治町三ノ一

克 語 語 語

一、待

遇

(1) 最高を日本書 (1) また。 (9年紀、第十六後以上三十五陵末、2世紀、第十六後以上三十五陵末、2世紀、1年2年3年3年3年3十二十五世紀、1年3年3十五陵末、2世紀、1年3十五陵末、2世紀、1年3十五陵末、2世紀、1年3十五陵末

集 上科栋式會肚與由上場

就募求 業集人工 職人員

務員者

京城府地町二丁目八番地東話本局②一四九八番地東京城府地町二丁目八番地東京城府地町二丁目八番地東京城府地町二丁目八番地東京城府地町二丁目八番地東京城府地町二丁目八番地東京城府地町二丁目八番地東京城市地域 大

三起原報國ノ優浦刺ナリ州へ最新原設ノ合理的高級貿別へ最新原設ノ合理的高級貿

· 原管元·原 理化全研究所葡品科 · 原管元·原 理化全研究所葡品科 · 原管東京八四五家等看

月やく。といこうりお田り

(m)

0)

長課務内中田 答一 問一 と

大空に軍用鳩は飛ぶ

第2 文部な職、ノモン 行び、ハン、大風部城と の時、島の城道に戦した の城がは大きく名型 い、日本では日洞 変数調から置ひかけてある

盘

夜

京日案内

人なる祭

[155] 中野

地方特約店募集 富

城朝日祖 三十二

府民の決戦體制完

年の所勢開査で一瞬百廿萬の

双阔时、楔尖的二丁直、楔尖的二丁直、楔尖的二丁直、双弯的二丁直、双弯的二丁直、双弯的二丁直、双弯的二丁直、双弯的二丁直、双弯的二丁直、双声型,一直、双声型,一直、双声型,一直、双声型,一直、双向三直,大阳的三百,大阳的三百,大阳的三百,大阳的三百,大阳的三百,大阳的一丁直。

を訪れ献金した、なほ同日同部の 大路率減日に、軍墨國部

一十人針。

街頭に立つ崇高な半島の母の家を

即兵の役が子に終る千人動を以て

晴れの特選

(1)

回收金屬は買上げ 東大門、城東兩地區供出に拍車 家の要請に関へるこを要図した 一覧でも多くの金融を供出して、國

せると、駅つて留き合つた。

脚申報社機上で、

らかれ、命令をうけて出席した美の氏をめぐるその一派の財職がひ

事先飲納の熟味により多大の物質の事先ずむば止寒じくの愛園強の

に向ひ、田植作業落仕を行ふこと

会を 開催/金属回収はこれを 取

好者の費同を得て十三日京

米の増産へ一

今年こそ三百萬石必收へ 段ご拍車

第一級の第十の心を心として断無難がで発明を発明を見出らうと地深観め

十ケ所に付き全刈り及び坪刈り の代表邑面を粉定の上一の邑面

民に課せられた最大の

/ 主演女優撮影大会を同 社館と朝味共同主催の下 同の酸を添げませう《運動

年で二回目の特徴である、現在進 出身、文展に一回入選、鮮展では今

日ほど切なる時はない

の名誉に賭けて今年こそ宿園の むる生産力の決勝的増弱が強く

くためには国際の充足を完全に

借りたい涅槃になごの襲撃期に

をすることとなった。今年の関

る、別職者名画のラツキョウ約























羽黒・安藝 照國の三 横綱郎々

好調!!

佐渡嶽高一郎路島秀光

四日より 鍛鍊成果篇

大城會社





ちよつとの傷も

すが 面倒です ながびくと







建築修理

家政婦人用慰

九日君,四日 市上城大映籍作 大映籍作 大映籍作 大映籍作

門領太郎・最上、光子のでは、大郎・最上、光子のでは、一番・思・汗

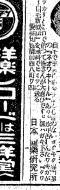














明太紫紫





會



建築修繕改



よ。信





科外科病例





使用権制度を新設器 であるので、各種生産手段の こそは、親力増強の基礎型

「リスボン特電八日發」 ウシントンを第二アメリカ派記録八日録デーア メリカ 歌聞 機群は七日ルッセル上空に於いて日本機と交職、わが方は七機を失

七

ル上空で空中戦

聯した"雛業の着手、繼續稼行の許可制す。 察と肌點主義を期するもので近く施行範訟の指定をみる、緊諜権 はち鑛業許可令に相富する 内容で適用地

ての施行規則は、近く公布する

するため法る二月六四曜旧制度を

大の職果を敗めてゐるが、さきに 既由を取ね、戦力増張の具態的方

出生、伯父である智福岡郷土松本川の一郎男の次男で明治三年十月一紀十二十月一日は大郎氏、氏は汝安

を撃墜

七日夜新内閣制隊完了に借り次の

係を維持すべき解析的政策を確一ルゼンチン新大統領ラミレス修録(社の、米和諸國との友好協力腺)「プエノスアイレスも自同盟」アブルゼンチンは現在の賭修約に

は現在のところ中立政策を持續



現在は中立政策

米空軍獨立案

獨空軍第四次爆擊敢行 を加へた結果、ある程度の担害を 一回回の機関 ーヨークからのロイター地報に

【ローマ八日同国】併貨司令部公

機に関し、沈戦を守り過ぎその他一生じた。と開版に最張した

了一市政

クホルム八日同盟

ン瑚

正子の公然で『獨空軍は五日

ゴ市灰燼と化す

護送船團攻擊

ラムペトウサ(領)島上陸の英軍殲滅

ヤ島の陸方ラムパアウシ最上陸作一米國の空軍部隊はキプロス層に集一を啓開し、東部職員における赤軍

能に對する機関を企圖してゐると Cドデカネーズ階層が至クレタB

> 【ベルリン八日 同盟】デーエヌ ペー密軍配指アルパート・フライ

常局筋はチュニジャ東部ケリビブ

ク少には観空軍の第四次ゴー

宣快鴻擬歐梭歐位四、五、

は石炭一千目萬トンの損害を敷にわたる炭坑難能によって、米 石炭一千百萬噸

ニミツツ歸任。ア



保健に

防三病後の回復促進にも、生れつきの虚弱兒や悪疫後

精膽を主藥とせる良藥至純至高の貴重動植物

且つ溫和で優秀なり。の作用は、極めて緻密

我が爆撃に漆煙を吐く米空母、この海上にて

第101第二

図を企画した四八日次の消り後要

に動し上院を企図したが、イターへてゐるが、含らに決國政家が一英軍は七日伊領ラムペトヴサ島 | 福軸経験が数回にわつて砲壓を加

印度軍將兵も動搖

以英暴動愈々熾烈化

市場内部の最間もの階級の類似に一端する回路は最近急級に指すの、関係にの場所を一般にの場所を一般に表現が、一般に表現が、一般に表現を表現しません。

すでに弦人解複数名は剛殺された

ン地區の敗城に焦めずる赤軍はロ トフ四万地區の安全を確保する

白兵戰展開 クパン地區で

何處とか出動したと係へられ、

【イスタンプール八日同盟】ニュ

の開展策にも拘らず、倉蔵派を中

ル、ピハール、オリツサの東部州

群一圏とす(II)競送の単位

ジー來電によれば、印度政際

る情報選してゐるが感知がシケリーことは緊急質と思される、さらに一つてゐる複様で、東部熱州では印る情報選してゐるが感知がシケリーことは緊急質と思される、さらに一つてゐる複様で、東部熱州では印

南蘇蘇糸桃原株式會社後後のもと 野獣世長、矢巌東町、朝院蘇糸骨

西之を委嘱組織す 一部在委員会 左記の通り開発者

周月1000

員参與、中川後

一回供出競進會開催

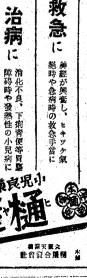
に第二回駆闘供出競進會を開催す

ごとになり、八日午前九時から

英郎がマルタ間とチュニジャの中

ーマ八日同盟】伊軍司令部は

四の伊衛ラムペトウサ島に敵的上



明重のほせ 川川県のコリ

國際店にあり

疑菌 のオドアミン

結核征服 の根本條件

完全消化 ピルツ剤

國軍の重要人事原動を九日次の

秋山

以關各省委員

是一個是 四種少將 本類部類政司 本川 哲二

施行援引額吉留銀を協さんとすな此等の指の承蓋人にして本名

部で開催、阿治經濟、前田総務育

【東京地話】薬政留では八日正午

翼政會總務會

對議會策協議

代職工會を開催、阿部認義、前田

閣顧問に松本氏

最近頭に北部佛印各地を狙つてゐ るが、八日正午より四時間半に

敵機撃退 佛印盲爆の

超重點產業代表揃る

し九日内閣でり左の姉く残令され、附附・航空域・あるひにが横工製な水郎氏を内閣部間に加へること、 の長老として同時に懸済、戦金郎

た、これを以て内閣顧問は愛田、

教科書、二度の勤

0

明發の街

献げようと窓

人糞乾燥肥料に成功

嬉しい

平後一時より邑會議総で開留 職員の店原を決定、次いて山下 職員の店原を決定、次いて山下 職員から接拶あり金貨番蒔に入 り流揚一致可決確定、同二時通 を開留した

出遅れ狙ひ

かねて十八年度成入出追加更正確 三千浦)新昌會議員初議合せを

けふの市況

(九日)

それより一年行学、舞かしい破し機管の大りな名を付好さり、木木の中人人、果のうちに、洗漱には服金かさ 5二十五百萬の既にも、胸深くしいまった。根理(10年)の大規令教が自ら派空の建筑を は歌場の政国・開発をしてきのより たいで かった (20年)の間のでは、現代の大規令が自ら派空の建筑を は歌場の政国・開発すってきのより 気に確と関った援刑を助りが 八日の大昭電戦日、冷めやらぬ響を でに確と関すが経路した。 (位と歌印を再び解解の担めに辿い

あつて生産の既力増强陣の眼とな

或ポントが浮びめがった、これを 金と六百萬冊、その紙銭二百廿五

尊い體験を活

農道職員鍊成隊歸鮮

朝鮮の與村陣頭に起って奮闘す 図目氏(全北陸會)が一行を

を執行したが、銅像は九日別木山職員生徒が神式による散納室告祭

壮烈岩村中尉機の自爆

味ある大日本兵器 安東證券株式

各々その道に成って天分さる形はどうかと思ばれます

送付乞フ 詳細専多量購入致シタ

細直チニ返事可仕候シタシ 見本左記宛御

所

できな朝逝があり、國民的氣候の「ありますが、あながち一方に織す」つて日本氣候を世界的に流し生かいでも『観光なるもの』へのひた「しい眼による気がが加へられつく」道に外礼たが今こそ本來の家に強地でも『観光なるもの』へのひた「しい眼による氣がが加へられつく」道に外礼たが今こそ本來の家に強いても、「アメリカやユメヤに織いされて脳

動)風湿(金銭氏)など異色ある と数中氏】 の影響にはいる。

が少女(東川晃)漢江春郊(松井)

創造力の缺如が

決戦下牛島美術を語る

『決版下の美術を踏る』

当成音を

ーにしてもこの傾随の中に高ち盛かれます。ピカソにしてもダリニ

酸析とでも可ひますか、現在の図 に至ってユダヤ酸得ブラマツソン

奥地からブラウで呼ばれた玉

機能の埠頭人夫 が港に集まる、 悪はマカツサ

数到、医財施設を完備なきまで場 「空を快期、長層恩施の上空

国一堂つや刀目に郷田順本殿八代部宮田堂のイ川本電路」同盟地區総常物理事上田南三氏母

現今中國人のあひだでよく云はれ

でうしたものだらっ。蜀の双調 「影子の約ちら以上、容れたければなりますまい。 けんど、大くを はなりますまい。 けんど、大くを こうかがひ、像よりぶば、海ばらりばといかがひ、像よりがは、飛出しつ 一足先

く召遣さ 切封日十 アレコレ リノ 三浦 光子 謙子子 !劇喜春青温映竹松る出り躍に夏初 治 明





子殿の國際も赤塵姿國々しく仇敵。 泉城徹文中學校の《生みの親》で 閔泳徽子雷の銅像献納 所に運ばれ散納の手鞭きをとった 校長以下代表生徒世名の手で武官

子にのぼった。そしてその離育

加爾米英を叩き遺紀と年間二千五 京城府會垂範 軍用機資金を 陸海軍へ献金 は、時局直接保定とは出現れ更生概だ の流線には「自身を物色質がは出場で が、速線では、生きな出た、先行 か、が、速線では、生きな出た。 かれる、生まな出がきたの如し れる、生なな出れで値なの如し も では、生きな出れで値なの如し を かった。

、異へ関値を送り、慶



という意実を照べて、國際的にという意実を解べて、國際的にと、もちろんである。
こと、もちろんである。
こと、もちろんである。
その特値は成都へも、城中の孔・世をの場がは、流明の所へも、同様に成がへれて、北・大をにからからに云からかる。なせといくは、大きなからない。なせといくは、からからない。なぜといくは、からからなる。 節か前

間一旦三八番車

猪印のみとり粉本舗

其他の害虫駆除 生 個 大 十 個 大 十 個

一言川英治(作) 大野橋村(絶)

特进高段店隊拔戰

生き拔け

本魂

[1]

ざ聖將の忠靈に報いん

く曖昧に疑れる簡単である。顕出

十二月八日紅珠麗州與の頃、世一際頃が飲然起って米寒麗爾虎に入向」と歌遠遠瞰に襲わるのである。の大いかる名を仰いで歌いた。「極歌の大いなる名は如まり、われ」の生歌遠祖殿に襲わるのである。それより一年有半、類かしい戦」とは「西八日、世紀の張將山本」即し、上下一種となって米寒麗爾虎に入向」と歌真の 生雨観土を 野配し、投それより一年有半、類かしい戦



